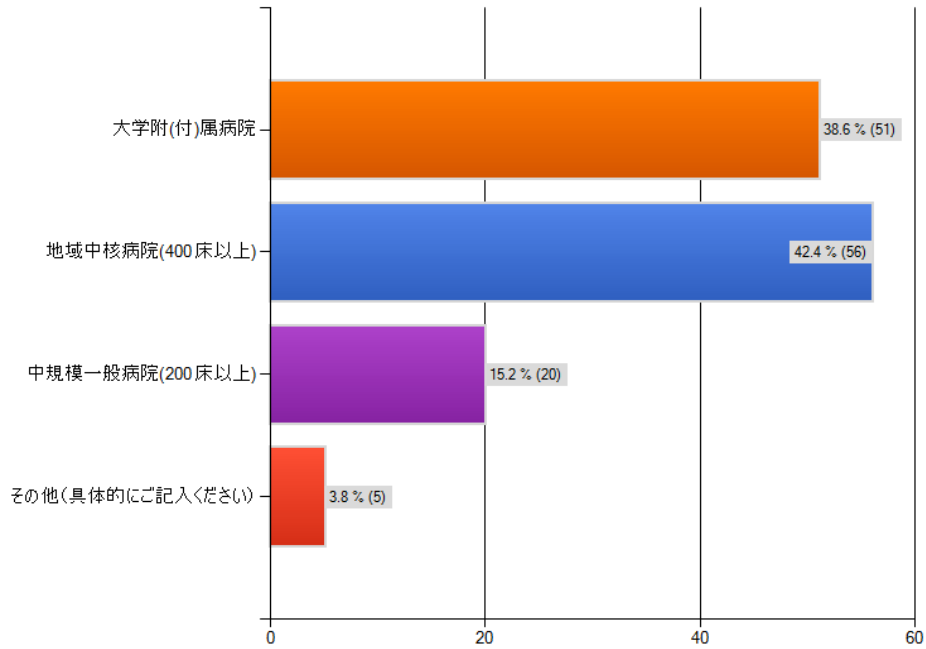


ICUにおける静脈血栓塞栓症(VTE)に関するアンケート
(2011年3月実施)

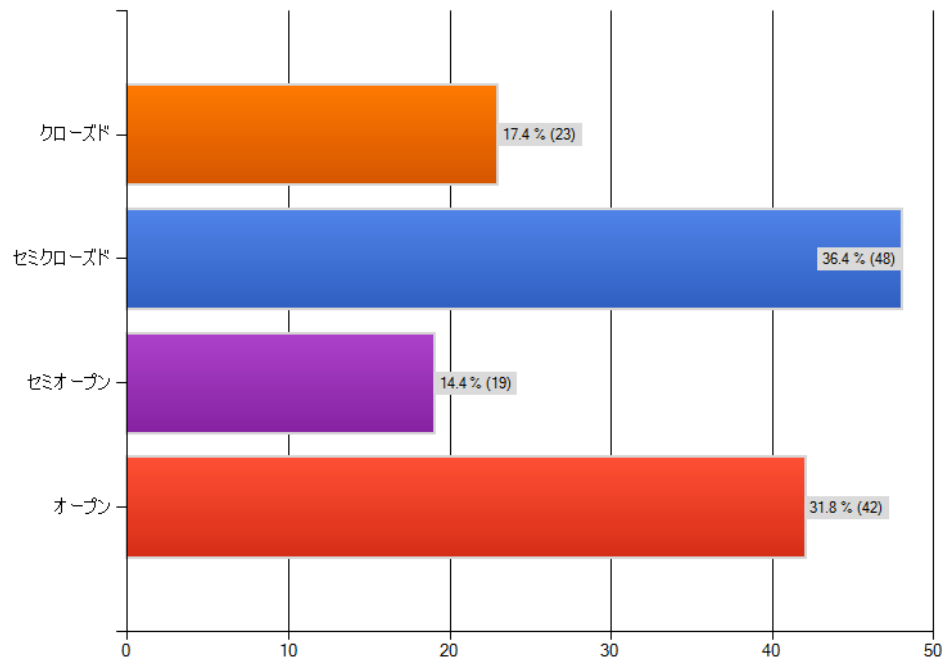
J S E P T I C 臨床研究委員会

回答者数：132名

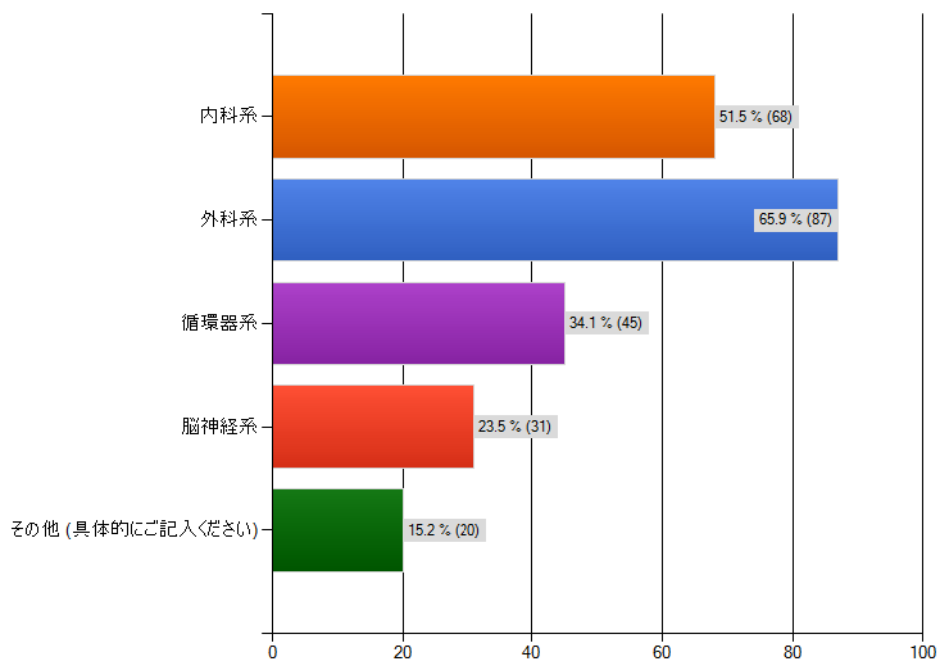
質問1. あなたが所属している施設のタイプは次のどれに近いですか。



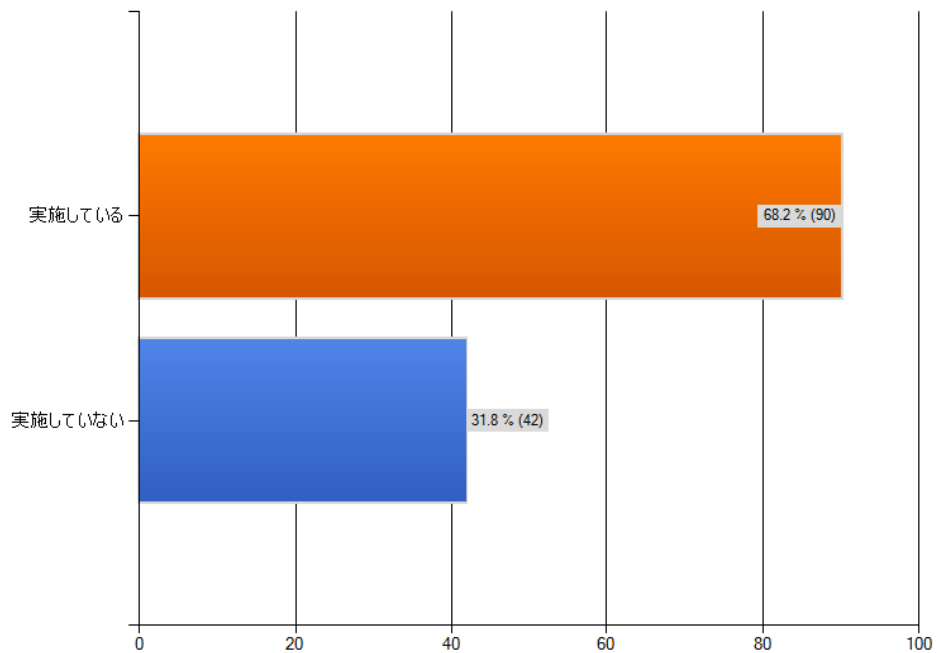
質問2. ICUのスタイルは次のどれに近いですか。



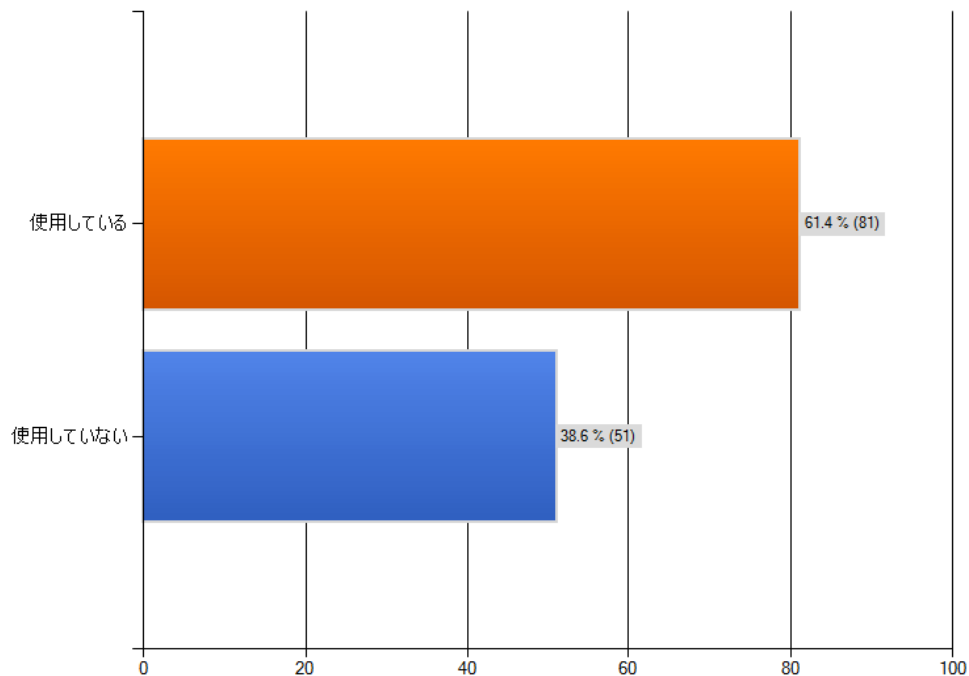
質問 3. ICU のタイプは次のどれに近いですか。(複数回答可)



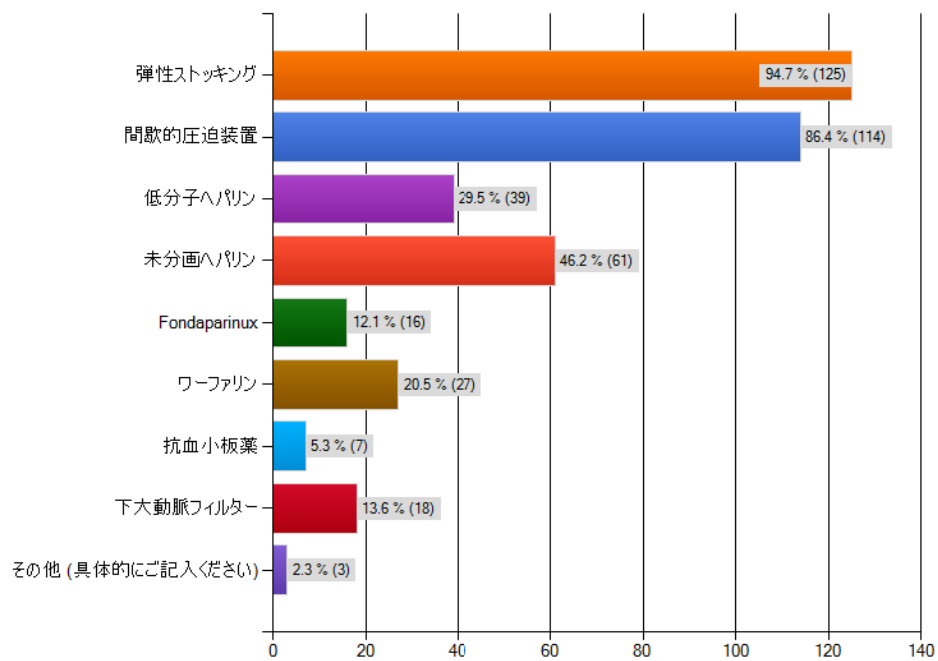
質問 4. 各症例に対する VTE のリスクアセスメントは実施していますか。



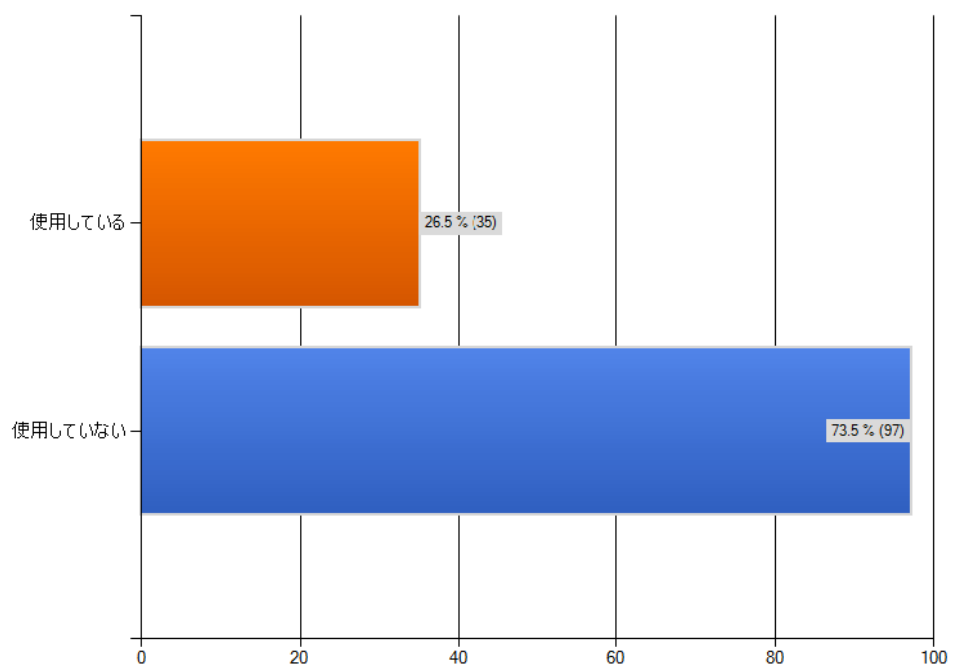
質問 5. VTE 予防に対するガイドラインもしくは院内独自のプロトコルを使用していますか。



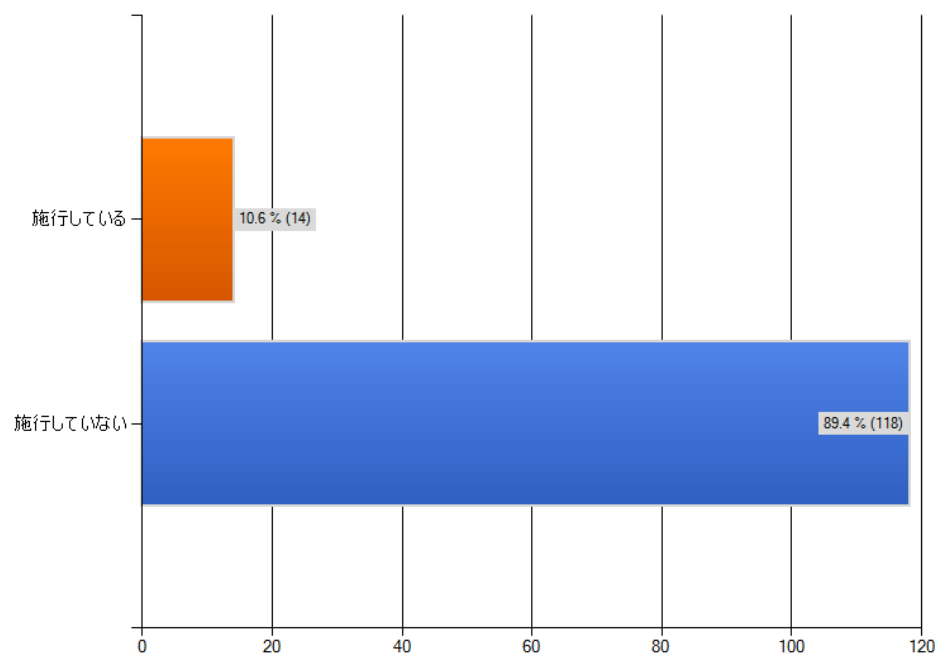
質問 6. VTE 予防のために何を使用していますか。(複数回答可)



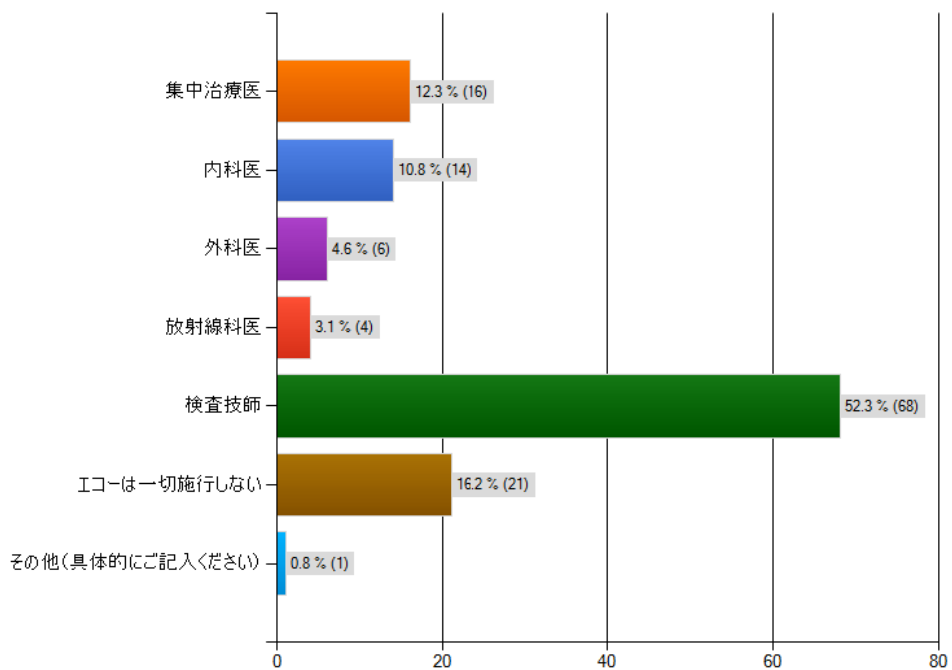
質問 7. 深部静脈血栓症(DVT)のスクリーニングプロトコルを使用していますか。



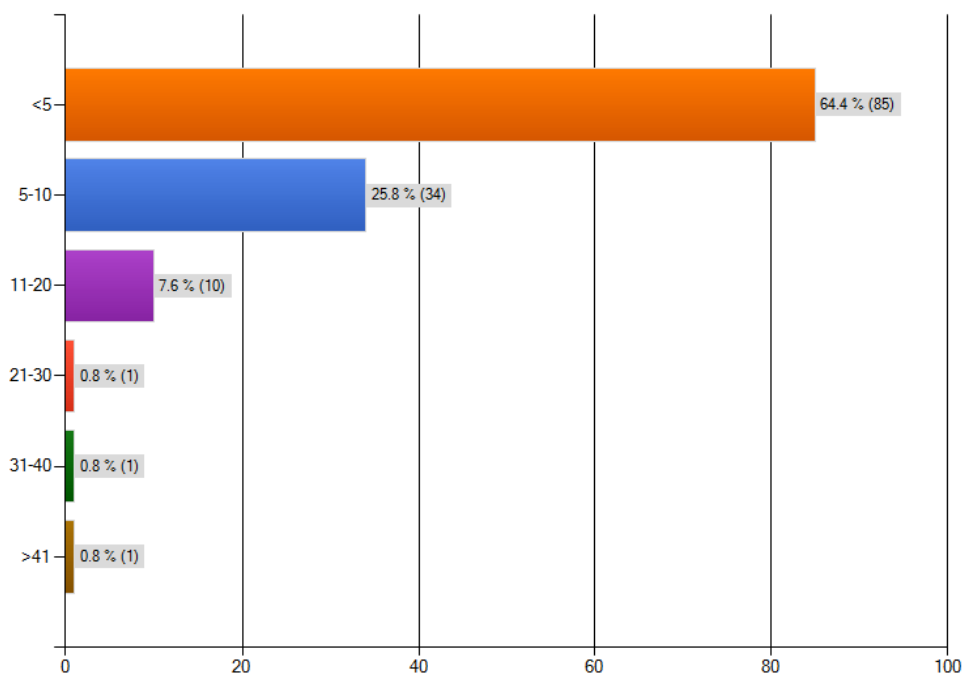
質問 8. 定期的なエコーによるスクリーニングを施行していますか。



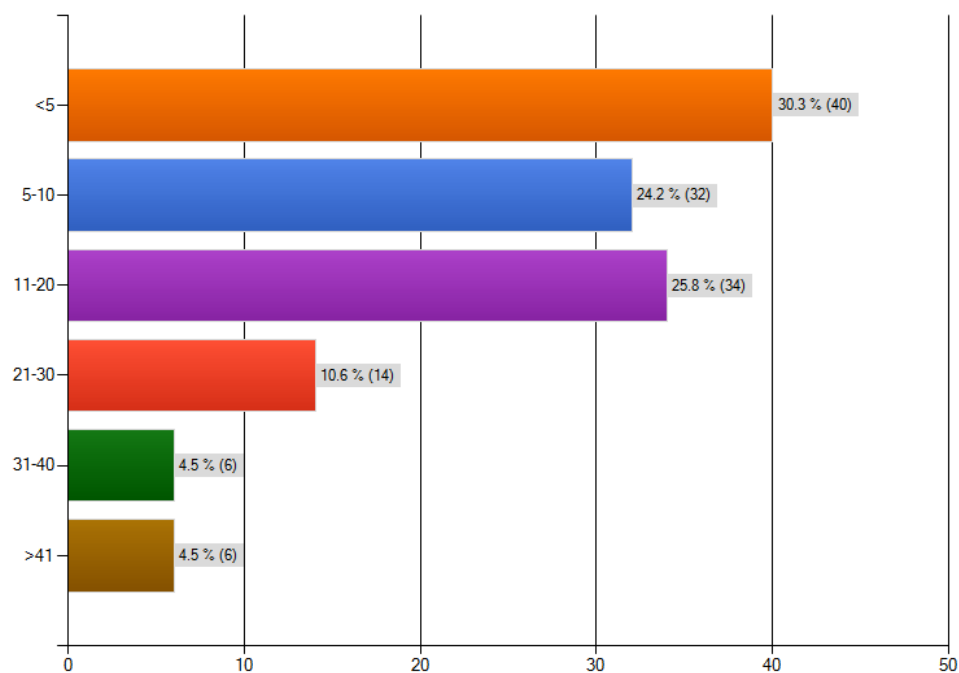
質問 9. DVT の診断目的のエコー検査の主たる施行者は誰ですか。



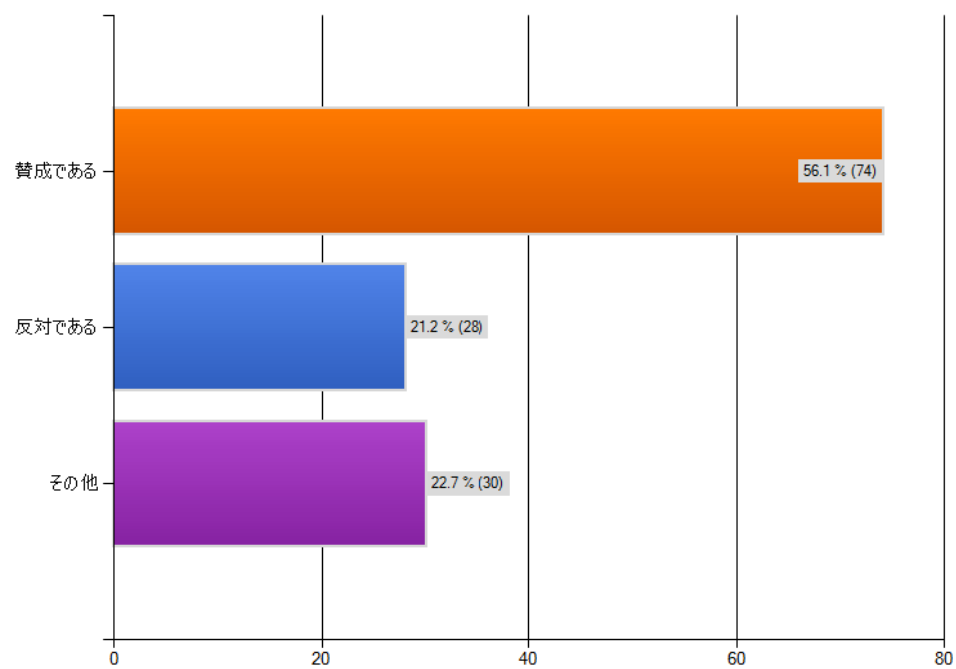
質問 10. 肺塞栓症の発生件数(1年間)を教えてください。アバウトで結構です。



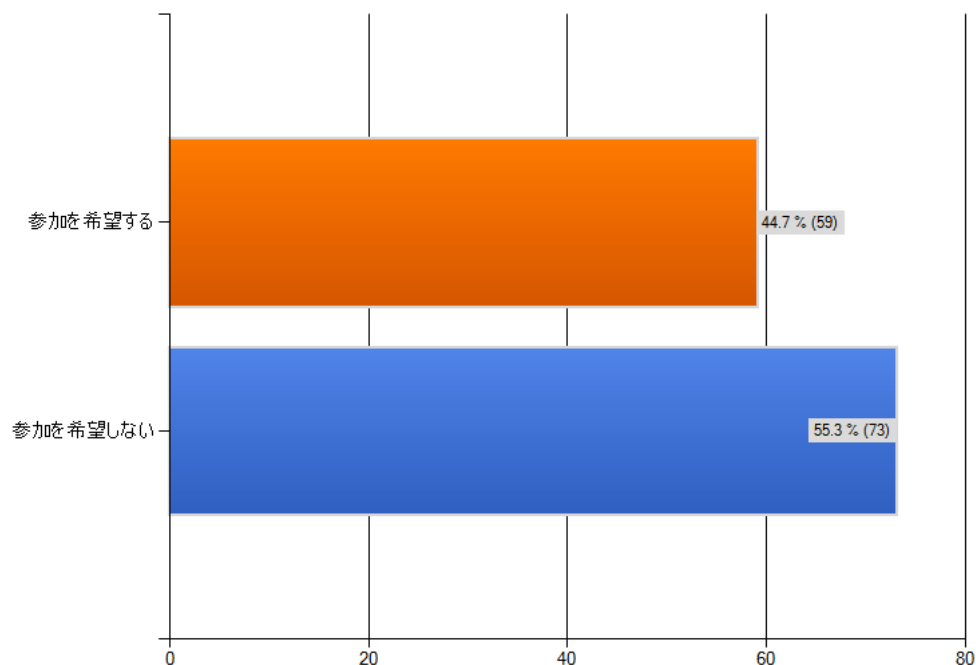
質問 11. 深部静脈血栓症の発生件数(1年間)を教えてください。アバウトで結構です。



質問 12. 欧米の VTE 予防のガイドラインを日本に適用することに対してはどのようにお考えですか。



質問 13. VTE の発生頻度に関する前向き調査への参加を希望されますか。 ※参加施設は統一の予防法とスクリーニング法を作成し、これを使用することになります。



質問 14. 本アンケートに関して何かご意見があればお聞かせください。(自由回答)

回答者 : 13 名

- ・ 今後も情報の発信源としての一つのツールしてどんどんやってほしい。
- ・ おもしろいのでドンドンやって欲しいと思います。
- ・ 読者からのアンケートも実施して欲しい (訊いてみたいこといっぱいあります) とてもいい企画かと思います。
- ・ 質問 11 は、恥ずかしながら、実態を把握しておらず、全く不明ですので、わからないという選択肢を入れていただいた方が良いかと考えます。質問 13 は、参加したいとは思いますが、現在、複数の調査、研究に同時に参加しており、現段階で更に追加というのは、余力がないという意味で参加を希望しないに致しました。2者択一は難しい印象を受けました。 Pierre D. Kory, Crescens M. Pellecchia, Ariel L. Shiloh, Paul H. Mayo, Christopher DiBello, and Seth Koenig Accuracy of Ultrasonography Performed by Critical Care Physicians for the Diagnosis of DVT Chest March 2011 139:538-542; published ahead of print October 28, 2010, doi:10.1378/chest.10-1479 が発表されたばかりで、大変トレンドリーな話題で、先見の明を感じております。
- ・ 乳児や小児についての DVT 予防はどうすればよいのかいつも議論になり悩んでいます。
- ・ すばらしい企画だと思います。調査があれば参加させてください。

- ・お忙しいなかこのような企画を提案・実践していただきありがとうございます。
- ・当院には実は ICU がありません（地域では唯一の救急も受け入れられる中核病院です）。各病棟内の ICU もどきのユニット（設備も無く、単なるナースステーションに一番近い個室ですが）にて ICU に準じた管理を行っています。私は循環器科医（兼一般内科）ですが、整形外科や外科からスクリーニング段階で紹介を受けることは稀で、すでに術後血栓性静脈炎や肺塞栓症を発症してから紹介されるのがほとんどです。外科でのスクリーニングはシステマティックに行われており、幸いここ 2-3 年手術後合併症として肺塞栓症で亡くなられた方はいません。必要にせまられて、ICU 管理の勉強をさせてもらっています。もちろん全てをまねることはできないのですが、少しでも向上できるようにと多くのヒントを頂いており感謝しております。
- ・アンケートの回答方式ですが、非常に容易でした。いろいろと作成するのに大変だったと思います。本当にお疲れさまです。当院で前向き VTE 発生頻度の調査を行うことは、院内でガイドラインが作成されてしまっている関係上、やや困難かもしれません。もちろん内容によるかもしれませんが、その際はご連絡頂ければと思います。また、DVT ならびに PE の発生率ですが、入院後から予防として導入されている症例では少ないと思いますが、入院時から呈している症例も多いので、印象としてはファジーになってしまっています。申し訳ありません。基本的にはなんらかの対応はしているので、以前に比べたら明らかに院内で少なくなっていると思います。
- ・現時点で、VTE の発生頻度に関する前向き調査への参加には、即答出来ない。参加の是非に関して、自施設での相談が必要である。
- ・結局、研究なのですか？趣旨がわかるようでわからない。
- ・今現在当院の ICU を担当していないために質問 13 は希望しないとした。
- ・「下大動脈フィルター」となっていました・・・それはさておき、集中治療学会のシンポジウムでも、「予防する姿勢があればいい」というスタンスと、「きっちりしようよ」というスタンスがあるでしょうが、その背景になる日本でのデータが乏しいのがつらいです。低分子ヘパリンの使用が制限されているのは、なんとかならないのでしょうか？そういう意見があれば、大学の要職におられるような方から厚労省や製薬会社へ働きかけて頂くきっかけになってくれないかな、と思います。

以上